

(様式第 10 号)

事前評価結果報告書

令和 7 年 9 月 // 日

衛生研究所長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会

委員長 木村 博一

(押印又は自署)



調査研究課題	「ダニ媒介性病原体の多項目同時検査法の開発」に関する試験研究
--------	--------------------------------

評価項目	評価	意見	備考
①必要性	5、5、5、5、 5、5、5 平均評価点 5.0	ダニ媒介感染症は病因が多様であり、早期診断及び治療が必要なため、多項目同時検査法の確立は重要である。	
②目的の適合性	5、5、5、5、 5、5、4 平均評価点 4.9	ダニ媒介感染症拡大は喫緊の課題である。多項目同時検査法確立は、ヒト感染の早期診断及び治療に繋がるため大事な開発であり、経験のある担当者が継続して取り組むことが望ましい。	
③計画内容等の妥当性	5、5、5、5、 3、3、4 平均評価点 4.3	これまでの研究で、環境中のダニ、野生動物、感染者に関する豊富な経験があり、関係機関との協力なども含めて、計画は妥当と考える。 ダニ媒介感染症による高齢者での重症例があり、迅速診断の可否により対処方針が変わるため、多項目同時検査法の完成は急務であると考ええる。	
④目標の達成及び活用可能性	5、5、5、5、 5、5、5 平均評価点 5.0	これまでの研究実績を考慮すると、達成の可能性は高いと期待する。 また、成果を医療従事者や他県衛研に提供することで、ダニ媒介感染症の注意喚起に活用されることを期待する。	
⑤総合評価	5、5、5、5、 5、4、5 平均評価点 4.9	本研究課題と茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明を包括的かつ一括化した方が良いと考える。 ダニ媒介性病原体研究については、今までの実績もあり、期間内に優れた成果が出ると期待できる。	
⑥計画実施の評価 A：実施相当 B：計画を見直し 実施相当 C：実施不可相当	A：6名 B：1名 C：0名 最終評価 A B C	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)	

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好